

平成27年度(28年3月期) 第2四半期連結決算概要

1.平成27年度 第2四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント 減収増益：減収は6期ぶり、増益は4期連続（当期純利益ベース）。

ガス販売量	△8百万m <sup>3</sup>	:ほぼ前期並みの販売量
売上高	△1,296億円	:原料費調整に伴う単価減により都市ガス売上は△1,136億円 :電力等のその他エネルギー売上高△266億円
営業費用	△1,651億円	:ガス原材料費が油価下落影響等により△1,451億円(当期3,371←前期4,822) :電力等のその他エネルギーに関わる費用△286億円
営業外損益	△11億円	:持分法による投資利益△8億円(当期7←前期15)
特別損益	△124億円	: (当期) 投資有価証券評価損△26億円 : (前期) 固定資産売却益54億円、投資有価証券売却益48億円、投資有価証券評価損△5億円
配当金		:中間配当金は、1株当たり5.0円といたします(年間予定10円)

<27年9月末現在連結会社数:連結子会社66社、持分法適用関連会社7社>

(単位:億円)

決算実績表	27年度2Q	26年度2Q	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	7,184	7,192	△8	△0.1
売上高	9,014	10,310	△1,296	△12.6
営業費用	7,913	9,564	△1,651	△17.3
営業利益	1,100	745	355	47.6
経常利益	1,070	726	344	47.4
親会社株主に帰属する当期純利益	806	570	236	41.3

経済フレーム	27年度2Q	26年度2Q	増減
為替レート(¥/\$)	121.87	103.01	18.86
原油価格(\$/bbl)	58.85	109.51	△50.66
平均気温(°C)(※)	21.4	21.2	0.2

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したものを。

(2)ガス販売量

		27年度2Q	26年度2Q	増減	%	
ガス販売量	お客さま件数	千件	11,315	11,168	147	1.3
	家庭用	百万m <sup>3</sup>	1,276	1,284	△8	△0.7
		百万m <sup>3</sup>	1,317	1,324	△7	△0.5
		百万m <sup>3</sup>	3,607	3,626	△19	△0.5
	計	百万m <sup>3</sup>	4,924	4,950	△26	△0.5
	他事業者向供給	百万m <sup>3</sup>	984	958	26	2.7
合計	百万m <sup>3</sup>	7,184	7,192	△8	△0.1	

家庭用 :高気温影響により給湯需要が減少したもののお客さま件数の増加等によりほぼ前期並み  
 業務用 :ほぼ前期並み  
 工業用 :発電用需要が減少したもののその他工業用での新規需要増等によりほぼ前期並み  
 他事業者向供給 :供給先事業者の需要増

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	27年度2Q	26年度2Q	増減	%	27年度2Q	26年度2Q	増減	%
都市ガス	6,242	7,378	△1,136	△15.4	1,021	667	354	53.0
器具及びガス工事	965	866	99	11.5	31	23	8	35.9
その他エネルギー	1,671	1,937	△266	△13.7	183	163	20	12.4
(電力)	617	832	△215	△25.9	69	120	△51	△41.7
不動産	126	130	△4	△3.4	28	31	△3	△9.8
その他	883	961	△78	△8.2	42	60	△18	△30.1
(海外)	138	151	△13	△8.8	19	36	△17	△47.9
調整額	△874	△964	90	-	△206	△200	△6	-
連結	9,014	10,310	△1,296	△12.6	1,100	745	355	47.6

(注)セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは各セグメントに配賦していない全社費用。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	27年度2Q	26年度2Q	増減		27年度2Q	26年度2Q	増減
設備投資	893	864	29	D/Eレシオ	0.66	0.68	△0.02
営業キャッシュ・フロー	1,482	1,252	230	ROA	3.6	2.7	0.9
有利子負債	7,326	7,307	19	ROE	7.4	5.7	1.7

(注)有利子負債、D/Eレシオは27年3月末との比較

2.平成27年度 通期見通し <対前回(7.30)見通し>

(1)通期見通しのポイント 対前回 減収増益(対前期 減収増益)

ガス販売量	+118百万m <sup>3</sup>	:夏期における発電需要の増による工業用の増等、第2四半期までの実績差を反映
売上高	△360億円	:都市ガス△193億円(油価前提の見直しによる売上単価減および料金改定影響) :その他エネルギー△88億円(油価前提の見直しによる売上単価減)他
営業費用	△640億円	:都市ガス△409億円・その他エネルギー△128億円(油価前提の見直しによる原材料単価減)他 :前提となる経済フレームは原油価格のみ変更(10月以降、為替レート120円/\$、原油価格55\$/bbl(前回65\$/bbl))

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	26年度	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	15,614	15,496	118	0.8	15,541	73	0.5
売上高	18,960	19,320	△360	△1.9	22,925	△3,965	△17.3
営業費用	17,280	17,920	△640	△3.6	21,207	△3,927	△18.5
営業利益	1,680	1,400	280	20.0	1,717	△37	△2.2
経常利益	1,620	1,340	280	20.9	1,681	△61	△3.7
親会社株主に帰属する当期純利益	1,220	1,010	210	20.8	958	262	27.3

(単位:億円)

経済フレーム	27年度	26年度	増減
為替レート(¥/\$)	120.94	109.76	11.18
原油価格(\$/bbl)	56.93	90.36	△33.43
平均気温(°C)	16.1	16.0	0.1

為替・原油変動影響感度(3Q以降)	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	18	27	△9
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	10	32	△22